

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
「写真の起源 英国」	2019年3月5日～5月6日	写真発祥国のひとつである英国の初期写真が一堂に会する展覧会です。当館のコレクションに加え、世界最古の写真協会であるロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティのコレクションを有するヴィクトリア&アルバート美術館やスコットランドの初期写真を所蔵するセント・アンドリューズ大学の貴重なコレクション等、関係機関の協力を得て日本未公開の初期写真を多数公開し、ヴィクトリア時代の英国から写真文化の起点を考察します。
「志賀理江子 ヒューマン・スプリング」	2019年3月5日～5月6日	国内外で高い注目を集める作家・志賀理江子の新作個展。ロンドン東部の団地住民を被写体とした〈Lilly〉及び、オーストリア、仙台等で制作した〈Canary カナリア〉を収録した初写真集で第33回木村伊兵衛賞を受賞。その後、宮城県北釜地区で被災した経験を表現に昇華した「螺旋海岸」他、独自のフィールドワークから視覚化された作品により国際的な評価が高まっています。本展では、志賀自身の数々の経験を基にした新作を紹介し、経験や記憶、歴史・社会との関係性を考察します。
「TOPコレクション イメージを読む 場所をめぐる4つの物語」	2019年5月14日～8月4日 21時まで特別開館: 7月18日、19日、25日、26日、8月1日、2日	TOPコレクションは東京都写真美術館のコレクションを二期にわたって紹介する展覧会シリーズです。第一期では「場所をめぐる4つの物語」を取り上げます。それぞれの作家たちが、ひとつの場所や地域を深く見つめた4つのアプローチに焦点をあて、その場所の固有の生活、風景、出来事、世界観を写真やテキストによって構成した作品群をとりあげます。(出品予定作家: W. ユージン・スミス、奈良原一高、内藤正敏、山崎博)。
「宮本隆司 いまだ見えざるところ」	2019年5月14日～7月15日	宮本隆司は、個展「建築の黙示録」、「九龍城砦」によって広く知られる存在となりました。建築空間を題材にした都市の変容・崩壊と再生の光景を、独自の視点で撮影した作品は国際的に高い評価をうけています。本展では初期の作品から、アジアの都市を旅して撮影した作品や、徳之島で取り組んだピンホール写真作品などを通して、いまだ見えざる人間とその場所について展観します。
「嶋田忠 野生の瞬間 華麗なる鳥の世界」	2019年7月23日～9月23日 21時まで特別開館: 7月25日、26日、8月1日、2日、8日、9日、15日、16日、22日、23日、29日、30日	自然写真家・嶋田忠(1949-)の個展。嶋田は鳥獣の写真家として世界に知られ、「カワセミ」「アカショウビン」を力強く捉えた作品や、湿潤な日本の風土に生きる繊細な鳥獣の作品まで、その多彩な表現は高く評価されています。本展では、作家の約40年に及ぶ創作活動を概観するとともに、「世界最古の熱帯雨林」と言われるニューギニア島を舞台に、不思議な生態と華麗な姿で人々を魅了する貴重な野生動物たちを紹介します。
「TOPコレクション イメージを読む 時間と物語」	2019年8月10日～11月4日 21時まで特別開館: 8月15日、16日、22日、23日、29日、30日	イメージと物語性をテーマに、コレクションを二期にわたり紹介するシリーズの第二期。34,000点を超える当館のコレクションを通じて、作品にひそむ「物語」に注目しつつ、コレクションの新たな魅力を紹介します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
http://www.topmuseum.jp
※開館時間: 10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
映像展 「ポーランド同時代美術における女性作家と映像」	2019年8月14日～10月14日 21時まで特別開館: 8月15日、16日、22日、23日、29日、30日	2019年は日本ポーランド友好100周年、また非共産主義国としてのポーランド共和国が成立して30周年目にあたります。本展では、共産主義政権下の1970年代から、東西冷戦の終結を経て、NATOに次いで欧州連合(EU)への加盟も果たした現在まで、 ポーランドの同時代美術の流れを、映像表現と女性作家の役割に焦点をあててたどりま す。
「洞窟 実像と虚像」	2019年10月1日～11月24日	「洞窟」をテーマとし、 国際的な作家、作品を紹介しながら、現代社会の課題を再考する展覧会 です。実際に洞窟をモチーフとしたものや、比喩や暗喩として捉えた多様な写真・映像作品を紹介し、視覚の歴史を照射します。また、視覚や身体感覚を通して、歴史・社会と人間の関わりという根源的な問題を深く考察する場を提供します。出品予定作家：ジョン・ハーシェル、ゲルハルト・リヒター、オサム・ジェームス中川 他
「生誕120年 山沢栄子 私の現代」	2019年11月12日～2020年1月26日	女性写真家のパイオニア・山沢栄子(1899-1995)の個展。山沢は東京女子美術学校日本画科選科卒業後、1926年に渡米し、写真に取り組みます。帰国後は関西を拠点にポートレートや広告写真の分野で活躍しました。1960年頃からは、抽象的な色彩と空間把握による斬新な作品を制作しました。 本展は、山沢栄子生誕120年を記念し、同時代のアメリカの写真家の作品を展覧しながら、山沢作品の再評価 します。
「日本の新進作家vol.16」	2019年11月30日～2020年1月26日	当館は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘することで、新しい創造活動の場となるよう、様々な事業を展開しています。その中核となるのが、毎回異なるテーマで開催している「日本の新進作家」展。シリーズ16回目は、「 至近距離の宇宙 」をテーマに、 ごく身近な日常から深遠な世界を見出し、作品を制作する新進作家を紹介 します。
「第12回恵比寿映像祭」 【アーツカウンシル東京事業】	2020年2月7日～2月23日 20時まで特別開館	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」。第12回目となる本展は、展示、上映、トーク・セッションなどを複合的に行います。 また国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を東京・恵比寿から発信 します。
「写真とファッション」	2020年3月3日～5月10日	「 写真とファッション 」をテーマとし、 国際的な作家、作品、資料等を紹介する展覧会 です。従来のファッション写真という枠組みを超えて、人々に訴えかけるイメージを作り出してきた写真家の作品や、インディペンデントなスタンスで発行されてきたファッション誌等、様々な角度から写真とファッションの関係性を探ります。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
<http://www.topmuseum.jp>
※開館時間:10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日:毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(3)

事業名	会期	概要
「日本写真開拓史 2ndシーズン 関東編」	2020年3月3日 ～5月24日	本展覧会は2007-17年に開催した「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」展を元に、次の10年をかけて情報を更新するシリーズ展の第一弾「関東編」です。対象年代は写真渡来～日清戦争期頃とし、新たに関東地方の博物館、図書館、文書館、郷土資料館等に所蔵調査を行い、これらのオリジナル写真と関連資料から日本の初期写真史をたどります。
「白川義員 永遠の日本」	2020年3月20日～ 5月17日	白川義員(1935-)はこれまでに“地球再発見による人間性回復へ”を基本理念として、1969年出版の『アルプス』から『ヒマラヤ』『アメリカ大陸』『聖書の世界』『中国大陸』『神々の原風景』『仏教伝来』『南極大陸』『世界百名山』『世界百名瀑』まで、10のシリーズを発表しました。シリーズ第11作となる『永遠の日本』は、日本人の誇りと魂を復興する一助になりたいという作家自身の願いが込められた、崇高で美しい日本の自然を紹介します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
<http://www.topmuseum.jp>
※開館時間:10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日:毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日